

一般財団法人日本私学教育研究所主催
令和4年度 全国私立中学高等学校

私学経営研修会 ＜実施報告(概要)＞

66回目となる令和4年度当研修会は、6月2日(木)～3日(金)、北海道札幌市・札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて「躍進する私学～未来をつくる経営とは～」を研究のねらいに開催し、22都道府県から、定員を超える124名が参加した。

開会式では、藤原俊之・北海道総務部長、町田隆敏・札幌副市長が臨席され、鈴木直道・北海道知事、秋元克広・札幌市長に代わり祝辞を披露した。全体会では吉田晋・日本私立中学高等学校連合会会長、平方邦行・日本私学教育研究所所長による最新の中央情勢に関する講演・報告、坂東元・旭川市旭山動物園園長による基調講演、木村重成・北海道総務部教育・法人局学事課課長による北海道私学の現状と課題についての報告が行われた。北村聡・京都外大西高等学校前校長、浅里慎也・北星学園女子中学高等学校校長、鈴木康之・水戸女子高等学校理事長・校長をパネリストに迎えてのパネル・ディスカッションでは、コーディネーターの広石英記・東京電機大学副学長から提示された、私学経営で最も大切にしていること、多様な入学者に個別最適な学びを提供する工夫、少子化時代に対応した私学の経営戦略など幅広い内容について事例紹介・質疑応答と提言がなされた。その後、参加者は十分な感染防止策を講じて実施した教育懇談会で交流を深めた。

2日目は「新時代の経営ビジョン」「次世代を育む教育」「これからの教職員のキャリア形成」「私学の特色と情報発信」の4つを重点テーマとし、各校が直面する諸課題について語り合い、経験と課題を共有した。午後の学校視察では北海道の特色ある教育を実践している、酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校及び北嶺中・高等学校を視察した。

参加者からは「私学のおかれている様々な状況が分かった」「動物園経営と学校経営の共通性から学ぶことが非常に多かった」「有益な情報交換ができた」「新しい発見が多くあった(学校視察)」など、各プログラムへ好評が寄せられた。

地元関係者の協力のもと、私学の躍進を目指して企画実施した本年度当研修会は、所期の目的を達成し成功裡に終了した。



左：講演の様子。右：学校視察(とわの森三愛高等学校)の様子。
感染拡大予防対策を講じて実施し、定員を超える124名が参加した。

○令和5年度私学経営研修会は下記の日程・会場で開催します。ご参加をお待ちしております。

令和5年6月1日(木)～2日(金) 福岡県福岡市・ホテルオークラ福岡